

SINCE 1955
ROVAL

塗る亜鉛テクスチャー

亜鉛を「塗る」

新感覚のコーティング。

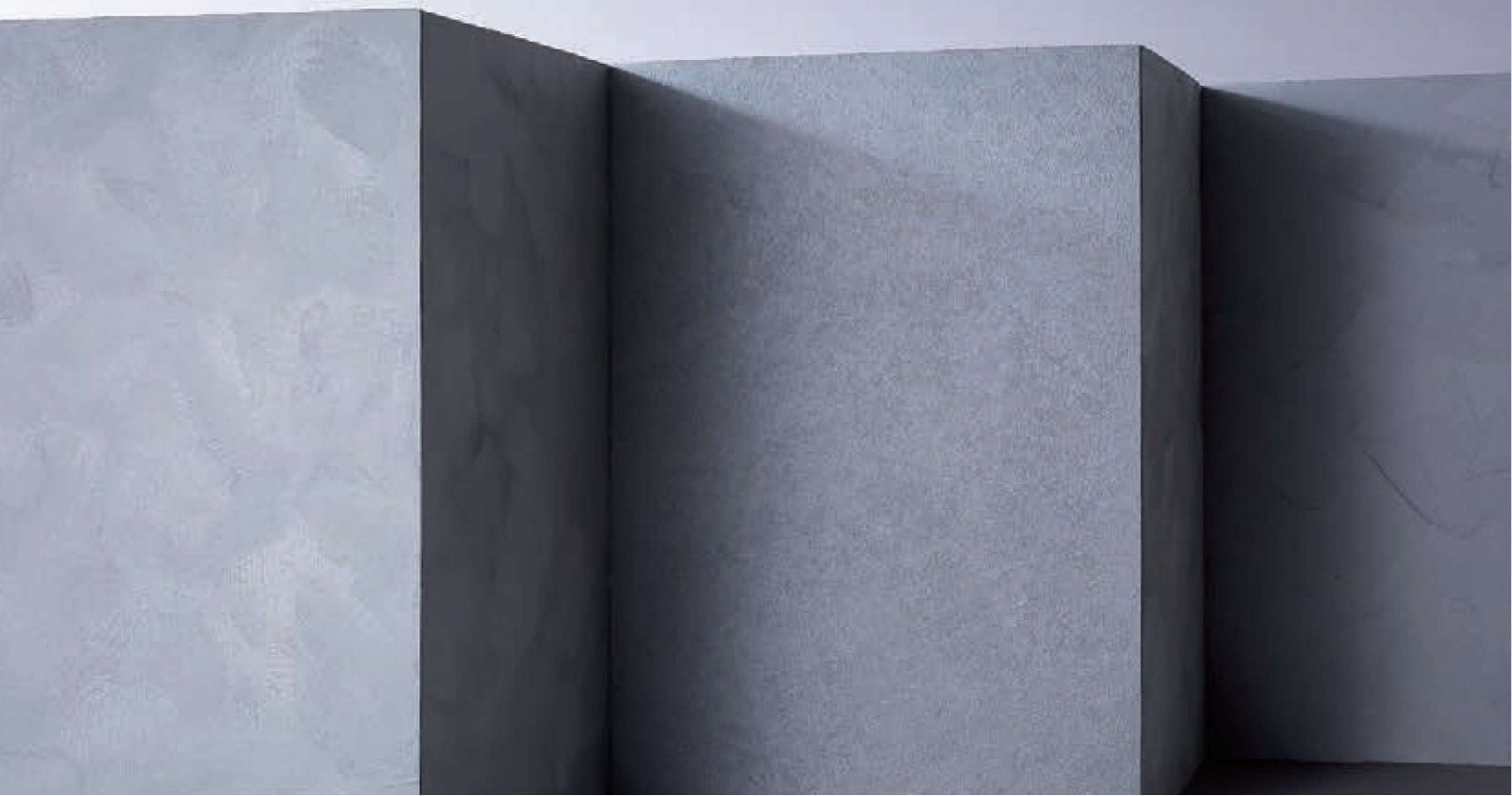
天然由来の亜鉛が持つ質感や意匠性に注目した
新しいコンセプトの製品『塗る亜鉛テクスチャー』が誕生しました。

まるで素材がそのまま塗られているような質感。
塗り重ねることで、見る角度によって変わる独特な陰影をつくり出し
平面に立体的な奥行きを表現できます。

鉄や亜鉛めっきだけでなく、木や石、プラスチックなどにも塗装でき
亜鉛が持つ落ち着いた金属感を塗布することが可能です。

鋼板でしか得られないような重厚な金属感は
木材や周辺の自然の豊かな緑とも調和します。

亜鉛という天然のテクスチャーが持つ意匠性は
空間を演出する素材として
イマジネーションをかきたてます。



Features

塗る亜鉛テクスチャーの特長

01

塗り方で表情が変わる

唯一無二の模様付け

塗り方や使う道具によって、さまざまな表情をみせます。亜鉛の質感をお楽しみください。

03

鉄以外にも塗って

金属感を出せる汎用性

下地にシーラーやプライマーを塗ることで、石膏ボードやプラスチック、木材や石材などさまざまなものに、金属感を付与できます。

02

平面に奥行きを与える

立体的なテクスチャー

天然由来の亜鉛を豊富に含有しているため、通常の塗料とは違う奥行きのある質感を表現できます。

04

屋内、住環境でも

使用可能な水性塗料

人体に影響の少ない水性タイプなのでニオイが気にならず、非危険物のため「安心」、「安全」です。



Cases



元々飲食店補が入っていた地下スペースを、スポーツバイク専門駐輪場に改装された物件。コンクリート打ちっぱなしのワイルドな空間に対し、石膏ボードで分けつけた個室や壁面に「塗る亜鉛テクスチャー」を塗装することで鋼板のような重厚感を演出しています。

Case

若杉グランドビル地下駐輪場 (WGP)

大阪府大阪市

竣工: 2022年

設計: アートアンドクラフト+佐藤伸也建築設計事務所

施工: アートアンドクラフト

使用箇所: 壁面、木扉、天井、ツールラック

塗装下地: 石膏ボード、木板、有孔ボード

撮影: 増田好郎



Case

彩の調保育園 南浦和 空

埼玉県さいたま市

竣工: 2024年

設計: ツバメアーキテツ

施工: 山崎工務店・護守塗装店

使用箇所: 門扉

塗装下地: スチール+水性ローバルを下塗り



南浦和に新しく建てられた保育施設。施設の顔ともいえる、出入口のスライド式門扉に「塗る亜鉛テクスチャー」を意匠的に採用。水性ローバルを下塗りすることで屋外鉄部でも非常に高いさび止め効果を発揮します。

Case

地球環境産業技術 研究機構 (RITE) DAC Labo

京都府木津川市

竣工: 2022年

設計: カイトアーキテツツ

施工: フクイ工務店

使用箇所: 壁面、天井

塗装下地: 石膏ボード

撮影: 表恒匡



研究機関の実験室として、既存温室を改修して建てられました。鋼板でしか得られない金属感を塗料で表現しており、木材や周辺の豊かな緑を強調してくれます。



Case

某店舗

東京都南青山

竣工: 2024年

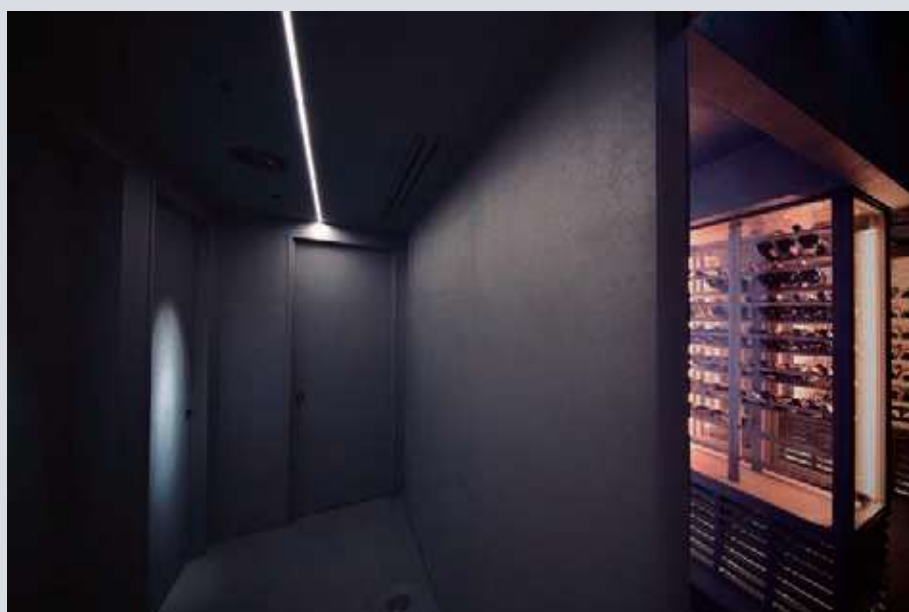
設計: Esir design

施工: Esir design

使用箇所: 天井、壁、床、家具等

塗装下地: PB、コンクリート、木、タイル

撮影: Esir design



天井、壁、床、家具等に採用。立体的な塗膜構造がもたらす奥行きのある質感が、空間全体に深みを与え、上質な雰囲気演出します。素材を選ばず塗装できるため、店内のあらゆる部分に統一感のある仕上がりを実現。照明を巧みに用いることで、光と影が織りなす陰影が移ろい、視点の変化によっても異なる表情を生み出します。

How to use

1 施工対象物に合わせて素地調整

さび止めが必要な場合（鉄・亜鉛めっきなど）

清浄な金属面に直接水性ローバルを下塗りする。

さび止め不要の場合（木・石膏ボード・プラスチックなど）

素地に適応したシーラーやプライマーを下塗りし、付着性を高める。

2 混合塗料液を制作

重量比で塗料液：粉末＝1：2で全体が均一になるように攪拌。 ※モーター攪拌を推奨

3 1回目塗装（下地作り）

一般塗料と同じように塗装。

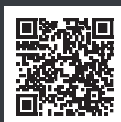
4 2回目塗装（模様付け）

1回目が乾いてから、2回目で模様付け。

5 3回目塗装（陰影を強調する）

部分的に塗装し陰影の強弱をつける。

施工仕様書はこちらから



Spec

■ホルムアルデヒド放散等級：F☆☆☆☆

■不燃材料認定取得

■3種規制非該当



製品名	塗る亜鉛テクスチャー
一般名称	高濃度亜鉛末塗料（水性有機ジンクリッチペイント）
亜鉛含有量	88%
容量	6kgセット（塗料液2kg、粉末4kg）
塗布量	500g/㎡（理論値） ※詳しくは施工仕様書をご覧ください
乾燥時間	指触乾燥：30分 重ね塗り乾燥：1時間 完全乾燥：24時間
品番	TEX-6KG

お問い合わせや

資料のご請求はこちらから

<https://www.roval.co.jp/architect/sample/order.php>

